

2025年度 須磨学園中学校入学試験



国 語

第 3 回

(注 意)

解答用紙は、この問題冊子の中央にはさんであります。まず、解答用紙を取り出して、
受験番号シールを貼り、受験番号と名前を記入しなさい。

1. すべての問題を解答しなさい。
2. 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
3. 解答は、1行の枠内に2行以上書いてはいけません。また、字数制限のある問題については、記号や句読点も1字と数えることとします。
4. 試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

須磨学園中学校

※この冊子は再生紙・ベジタブルインキを使用しています。

□ 次の文章は、安成洋「二人の兄と二つの大震災」の一部です。本文は一九九六年に刊行された安克昌『心の傷を癒すということ』が、二〇二〇年に新增補版として刊行された際、新たに収録されたものです。なお、筆者は長兄・安俊弘、次兄・安克昌の、三人兄弟の末弟にあたります。これを読んで、後の設問に答えなさい。

二人の兄、俊弘と克昌をつなぐものは何か。私は、克昌と俊弘の、次に掲げる、社会との関わりについて語った言葉の中に、同じ旋律を感じている。ともに具体性の重要性を唱え、実際にそれぞれの専門領域で、具体的な取組みを実践した。同時に「ひとりひとりの人間の尊重」「社会の品格」（克昌）、「良きこと」「正しきこと」の追求」「公益」（俊弘）という原理原則を、自分の営為の中心に置いた。ジューソウ的で複雑に絡み合い、また日々刻々変化していく社会関係の中で、この原理原則を見失わないように、自身の仕事のあり方自体を、ときどき立ち止まりながら検証していたのではないだろうか。

それは、俊弘と克昌が「在日コリアン三世」という出自であったことと無縁ではない。在日コリアンに限らず、マイノリティは、自分自身の存在そのものと自分自身が身を置く社会との関係性を、ヨウシヨウの頃から否が応でも意識せざるを得ない場合が多い。マイノリティであるがゆえの、ヨウシヨウ時からの「葛藤、思索、決意、諦観」といった、さまざまな「精神的活動」がたどり着いた先の「結晶」として、兄二人の言葉は、とても尊く、そしてせつなく、私の心に響く。最後に二人の言葉を掲げて、結びとしたい。

私たちの経験しているのは、大キボな都市機能の崩壊に巻き込まれた〈心の傷つき〉なのである。その意味で〈心のケア〉の問題は、たんに精神医療や精神保健の専門機関にのみ任された役割ではない。(……)心のケアは被災者全体に必要なのであり、そのためには被災者と接する業務を行っているあらゆる機関が、心のケアについて自覚的であるべきだろう。

大げさだが、心のケアを最大限に拡張すれば、それは住民が尊重される社会を作ることになるのではないか。それは社会の『品格』にかかわる問題だと私は思った。復興の中では補償やサイサンやローンなど、難しい問題が続出するだろう。ただでさえ、もめやすい事柄である。そこに必ず不公平感が発生してくるだろう。納得のいかない結果に終わった人たちは、自分が尊重されていないと感じるに違いない。

〈心のケア〉がたんなるかけ声で終わらないために、具体的

な方法論が今後ますます必要とされるのである。

(安克昌『心の傷を癒すということ』)

我々工学者は「良きこと」とは何かという工学の伝統的な問いかけを考えるだけでなく、「正しきこと」は何かという問いもまた、同じように視野に入れておかねばならないということではないでしょうか。そして、何が良きことで何が正しきことかは決してジメイのことではなく、刻一刻と状況を変える流動的な国際情勢や社会情勢の境界条件・制約条件のもとで、いくつもの衝突する価値観や選択肢の中から選択しなくてはいけないのです。また、影響が世代、地域を越えて不可逆に起きる21世紀的Complexな技術社会において、エンジニアが独断で選択するということも不正なことというべきでしょう。しかし、エンジニアは多くの利害関係者と対話をしながら解決策とともに探索しなければなりません。いったんその方向性が明らかになったときはそれを具現化するのもエンジニア、ということになりました。カナメの位置にいます。その社会への影響力の大きさに思いをいたし、基礎科学に立ち返りながら、エンジニアとしての専門分野に対する理解を深め能力を高める努力をつねに続ける謙虚な姿勢が、「公益」を実現するための工学の根底になければならないことを、今回の事故で改めて肝に銘じたいと思います。

(安俊弘「公益と工学」)

- 注1 俊弘：原子力工学を専門とするカリフォルニア大学バークレー校の研究者（一九五八～二〇一六）。東日本大震災の原発事故後、専門家として公正さについて問い、レジリエンス工学の発展に貢献した。
- 注2 克昌：精神科医（一九六〇～二〇〇〇）。阪神淡路大震災後、避難所でカウンセリングや診療などの救護活動を行った。
- 注3 在日コリアン：朝鮮半島出身で、現在日本に暮らしている韓国・朝鮮籍の人々。
- 注4 今回の事故：東京電力福島第一原子力発電所事故を指す。

一の設問

問一 ……線部1～5のカタカナ語（アルファベット）と関わりの深い熟語として最も適当なものを、後の中から一つずつ選び、それぞれ番号で答えなさい。

- 1 マイノリティ
 - 2 ケア
 - 3 ローン
 - 4 Complex (コンプレックス)
 - 5 エンジンニア
- | | | |
|------|------|------|
| 1 状態 | 2 職業 | 3 負債 |
| 4 割合 | 5 養生 | |

問二 「同じ旋律」(——線部A)についての説明として、**適当でないもの**を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 「同じ旋律」に**傍点**が付されているのは、強調する意図だと解釈できる。
- 2 「同じ」とあるのは、筆者と兄の考えに共通点があることを示している。
- 3 「旋律」とあるのは、長い時間のなかで、形になったことを表している。
- 4 「旋律」という表記は、後の「私の心に響く」と関連づけて解釈できる。

問三 「自分の営為」(——線部B)とは、どのようなものですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 実践の重要性などの提唱。
- 2 具体的な取り組みの実践。
- 3 実践の原則化という仕事。
- 4 抽象的な原理原則の営み。

問四 「ときどき立ち止まりながら検証していたのではないだろうか」(——線部C)とありますが、どのようなことを「検証」するのですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 専門とする仕事で、複雑に変化する社会と関わり、具体的な原理原則に基づいていること。
- 2 自分の仕事のあり方が、社会関係が複雑に変化するという原理原則を見失っていないこと。
- 3 自身の専門領域が具体的な取り組みを重視し過ぎるあまり、原理原則を軽視していないこと。
- 4 専門に没頭することなく、定期的に自分の仕事で社会貢献になっていることを確認すること。

問五 『葛藤、思索、決意、諦観』(——線部D)から推測される具体的な説明として**適当でないもの**を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自分は生まれながら、なぜ周りの人たちとは違うのかという苦しみを抱く。
- 2 周囲の人たちとの違いに悩むことを通して、考えが豊かに深められていく。
- 3 自分の使命は、温かく育ててくれた社会に恩返しをするにとだと決心する。
- 4 現実では、思い通りにはいかず、自分ではどうにもできない限界が生じる。

問六 「ただでさえ、もめやすい事柄である」(——線部E)とありますが、それはどういうことを言っているのですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で選びなさい。

- 1 震災で生じた経済的問題は、誰もが公平になるよう円満に解決することは難しいということ。
- 2 経済的な問題とは、日常生活においても解決が難しいため、関わるべきではないということ。
- 3 復興に関わる多くの問題では、被災者住民が軽視されるという結果になりやすいということ。
- 4 復興に関わる経済的問題でも、被災者の心に寄り添う、具体的な方法論が必要だということ。

設問は、裏面に続きます。

二

次の文章は尾崎英子『きみの鐘が鳴る』の一節です。小学生のつむぎは受験生で、一日目と二日目の受験で望んでいた結果が出なかったことで母親にしかられてしまい、三日目の受験はやめ、塾で四日目の対策をすることにしました。以下はそれに続く場面です。これを読んで、後の設問に答えなさい。

注1 塾長は笑った。頷いたつむぎを見て、さらに続けた。

A 「芸能界で生きるのは、ホタルになるようなものなんです。見ている側も、それが命の短い、儂いものだと思うから目を惹かれる。ホタルにしても、それをわかって光ろうとする。それはそれで美しい世界ですよ。ただ、売れていない頃には見えていた未来が、年齢とともに見えづらくなってきた。その世界ですっと生きていく自分の姿がイメージできなくなってしまった。潮時だと思

いました。どの世界でも、自分の仕事をきちんとできている人というのは、自分の未来像を把握できているものですからね。B

「だって、君たちは未来そのものじゃないですか。そうでしょう？」

わたしが……わたしたちが、未来そのもの。

つむぎは胸のあたりが温かくなるのを感じながら、八女先生を見た。皺の寄った目尻を下げたその人は、モブキャラなんかじゃない。つむぎの目には、ヒーローとして映った。そもそも、モブキャラなんていないんだ。そんなことに気づいて、つむぎは大きく頷いてみせた。

注3 伽凧ちゃん、来たんだって？

夜の帰り道は、北風が冷たい。

「女子学芸に受かったんだって。ほんと、すごい。さすがだな」
「つむぎもすごいよ。さつき八女先生に言ったことを聞いて、ママ、胸が熱くなった。つらい思いもしたけど、つむぎにとってかけがえない経験になっていんだなって」

しみじみと言われて、つむぎは改まった気持ちになった。
「もし明日の青明女子と優華に落ちたら、悔しい。でも、しょうがないって思える。こういう結果でも、それがいまのわたしの成果なんだよ」

ちゃんと血になって、肉になっている。失敗なんて、ないんだ。つむぎは五十嵐先生の言葉を蘇らせた。

「ママも今日家のことをやりながら、同じようなことを思ったんだ。こういう結果であれ、それがつむぎにとってのベストなんだよ。」

よね。そんなこと、大人の頭で考えてみれば当たり前のことなのに……だから、つむぎ、ごめんなさい」

ママはその場で立ち止まると、顔を歪ませた。

「初日、青明女子と優華がダメだった時、取り乱して、ママはぜひぶん酷いことを言っちゃった。いちばんつらいのは、つむぎなのに、わかっていながら、さらにあなたを傷つけることを言ってしまったこと……ものすごく後悔してる」

E ごめんね、本当に、と絞り出すように言った。苦しげに目を瞑ったその顔に、涙が筋になって流れる。

ううん、とつむぎは首を横に振った。

「わかってるよ、ママが言いたくて言ったわけじゃないことくらい」
「だからって、口にしていいことと悪いことがあるわよね」

「もういいよ」

「でも……」

ママがどれほど、つむぎのことを考えているのかは、目の下の隈が物語っている。

F 「いま言われるまで、忘れてたんだから」

少し大人ぶったように顎を上げてみせると、ママはやっと笑ってくれた。ママの頬を手で拭いて、その手を掴んだ。つむぎに引つ張られるように、ママは歩き出した。

「お腹減ったよね」

「夕飯は何？」

「水餃子鍋にしたよ」

「それ、好きなやつだ」

誰かに見られても、笑われてもいい。大人になっても、ママとこうして手を繋いでいたいとつむぎは思う。

H 月が出て、雲を虹色に照らしていた。どこかの店から、楽しい音楽が流れていた。

注1 塾長：八女先生。芸能界で活動していた過去を持つ。

注2 モブキャラ：モブキャラクターの略。主要キャラクター以外の存在を示す。

注3 伽凧ちゃん：つむぎの友達で、保健室に通いながら登校している。

注4 八女先生に言ったこと：前の場面で、つむぎが八女先生に「わたし、大人になった時に、きっと人生で一番勉強したのは中学受験だっと思うような気がしています」と言ったことを指す。

注5 青明女子と優華：どちらもつむぎが受験して不合格だった学校。

注6 五十嵐先生：塾の先生。二日目の受験の後、落ち込むつむぎに声をかけた。

二の設問

問一 「芸能界で生きるのは、ホタルになるようなものなんです」

(——線部A)とありますが、それはどういうことですか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 芸能人は長く輝き続けることを目指さなければならないということ。
- 2 芸能人のなかには一度も目の目を見ることなく芸能界を引退していく人が多いということ。
- 3 芸能人にとって命とは、短く儚いものであるということ。
- 4 芸能人にとって魅力のある期間は短い間しかないということ。

問二 「そういう苦い経験」(——線部B)とありますが、それは

どういう経験を指していると考えられますか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 年齢を重ねるにつれ、若い俳優に役を取られてしまい、自分の仕事が満足にできなくなり、引退を決意した経験。
- 2 年齢を重ねるにつれ、自分に与えられた仕事を遂行することができなくなり、自らの将来を思い描けなくなった経験。
- 3 年齢を重ねるにつれ、体力的な限界を迎え、若いころのように働くことができなくなり、潮時だと感じてしまった経験。
- 4 年齢を重ねるにつれ、現実と向き合わざるを得なくなり、若いころに抱いていた未来像を見失ってしまった経験。

問三 「大きく頷いてみせた」(——線部C)とありますが、なぜ

このような行動をとったのだと考えられますか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 「モブキャラ」だと思っていた八女先生が「ヒーロー」のように見え、自分を励ましてくれるその「ヒーロー」についていきたいと思ったから。
- 2 受験に失敗し、これから失敗続きの人生になるだろうと悲観していたが、八女先生に「未来」と言ってもらい、頑張ろうと意気込んだから。
- 3 塾長は自分たちを「未来」だと思って接してきたことがわかり、気持ちを切り替えて絶対に受験を成功させようと決めたから。
- 4 塾長が自分のことを「未来」と表現し、期待してくれていることをうれしく思い、それに応えて自分の強い意志を示したかったから。

問四 「ママ、胸が熱くなった」(——線部D)とありますが、

この時のママの心情の説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 受験結果が伴わず、つむぎの努力を疑っていたが、先生の話からつむぎが真剣に受験に向き合っていたことを知り、感心している。
- 2 受験勉強に苦勞する一方で、勉強以外の側面についても受験から学び、精神的にも成長したつむぎの姿に感動している。
- 3 親の目から見ても過酷な受験勉強を耐え抜き、一日目で失敗しても次の日に切り替えるような屈強な精神を手に入れたつむぎに感心している。
- 4 受験勉強を通じて精神的に成長し、失敗したつらい経験は忘れ去り、切り替えて未来を見据えているつむぎの姿に感動している。

設問は、裏面に続きます。

問五 「苦しげに目を瞑った」(——線部E)とありますが、この時のママの心情の説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 受験の結果が振るわないつむぎに対して酷い言葉を発してしまい、つむぎを傷つけたことがうしろめたく、現実から目を背けようとしている。
- 2 つむぎが受験の結果に落ち込んでいることを、内心では理解しながらも、結果だけを見て感情的になり、傷つける言動をとってしまったという自責の念に苛まれている。
- 3 受験でうまくいかず苦しんでいるのはつむぎなのに、つむぎが通う中学校は自身の社会的地位と関係すると考えていたため本人に厳しく接してしまったことを後悔している。
- 4 つむぎは自分のベストを尽くし、落ちてもしょうがないと思えるほどに努力したのに、それに気づかず傷つけてしまったことを後悔している。

問六 「少し大人ぶったように顎を上げてみせる」(——線部F)とありますが、なぜつむぎはこのような行動をとったのだと考えられますか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 結果に固執せず、ベストを尽くした成果として失敗を受け入れられるようになり、精神的に成長したことをママに自慢したかったから。
- 2 精神的成長という自分なりの成果をママに示すことで、受験結果が悪くても意味のある勉強だったと自分を納得させたかったから。
- 3 自身がとってしまった行動を許せないママの様子を見て、気丈にふるまうことで安心させ、ママの気を楽しませてあげたかったから。
- 4 ママが自分を責めたのは自分の将来を真剣に案じているからであることを、目の下に隈があることから理解し、同じ苦労を抱いた者として同情したから。

問七 「つむぎに引っ張られるように、ママは歩き出した」(——線部G)とありますが、つむぎのどのような様子を表していますか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 ママが自分の行いを後悔して立ち直れていない現状で、自分こそ前を向かなければならないと発起する自立した様子。
- 2 自分は「モブキャラ」ではなく「ヒーロー」だという自分の成果を見つけたことで、けんかをしていたママの手を引くほど気分が晴れた様子。
- 3 受験勉強を通して成長し、他人の気持ちを思いやり、過ちをゆるす余裕ができたつむぎがママを元気づけようとしている様子。
- 4 自分は「未来」であり「ヒーロー」であると教えられたつむぎは、「ヒーロー」として母親を助けなければならないという責任感に駆られている様子。

問八 「月が出て、雲を虹色に照らしていた」(——線部H)とありますが、つむぎのどのような未来を暗示していると考えられますか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 一日目、二日目の結果が振るわず、受験に失敗するのではないかと不安に苛まれていたが、受験勉強を通して精神的に成長し、気持ちを切り替えて四日目の受験に臨み、合格する。
- 2 つむぎは受験を通して学力だけではなく様々なものを得ることができたが、母親から投げかけられた言葉が心に残ってしまい、楽しい学校生活に影を落としている。
- 3 以前から順風満帆な人生を送ってきたつむぎであったが、晴れて志望校に合格することができ、満月のように欠けていないところのない素晴らしい人生を送る。
- 4 受験の結果をめぐってママと衝突することもあったつむぎであるが、母親との会話を通して精神的に成長し、人の立場や気持ちを考えられるようになり、素敵な中学校生活を送る。

↓ここにシールを貼ってください↓

受験番号

名前

2025年度 須磨学園中学校 第3回入学試験解答用紙 国語

※										
問八										
120		100		80		60		40		20

※		
問六		
問七		
※		
問四		
問五		
※		
問二		
問三		
※		
問一		
5	3	1
	4	2

（※の欄には、何も記入してはいけません）

※
問七
問八
※
問五
問六
※
問三
問四
※
問一
問二

（※の欄には、何も記入してはいけません）

※		
問十		
4	1	
5	2	
	3	
※		
問九		
e	c	a
f	d	b



2025SUMAJ0310

※

※

※